

学校評価（前年度評価と本年度の目標）

I 前年度の学校評価

1 自己評価結果等

令和元年度の重点目標	<p>ア 生徒指導の充実</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・集会や団体行動の指導を通して、社会における規律やマナーを重んじる生徒を育成する。いじめを許さず、人権意識を高める指導を行う。</li> <li>・全校体制で、身だしなみ指導・遅刻指導、挨拶運動等に取り組み、生徒の基本的な生活習慣の確立を図る。</li> <li>・適応指導や教育相談の充実を努め、生徒一人一人の帰属意識や自己有用感を高めて、心身の健康の保持増進を図る。</li> </ul> <p>イ 学習指導の充実</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・全職員が一丸となって「授業規律の確立」と「魅力ある授業」を通じて、基礎学力の定着を図る。</li> <li>・主体的・協働的に学ぶ態度を育成し、授業や家庭学習を充実させ、進路実現に見合った学力を身につけさせる。</li> <li>・授業公開・相互授業参観を積極的に実施し、「主体的・対話的で深い学び」の実現に向けて指導方法の工夫改善に取り組み、教科指導力の向上を図る。</li> </ul> <p>ウ キャリア教育と進路指導の充実</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・系統的計画的なキャリア教育を推進し、望ましい勤労観や職業観の育成を図る。</li> <li>・進学補習や自主学習体制を充実させ、生徒一人一人の夢の実現に向け、一層の進学指導の充実を図る。（普通科）</li> <li>・資格取得をより一層推進し、進学も視野に入れた多様な進路指導の充実を図る。（商業科）</li> <li>・生徒が自分自身の長所や適性、進路希望について熟考する機会を持ち、適切な系列の選択ができるよう図るとともに、総合学科の利点を生かし、体験的な学びが充実するよう指導体制を整える。（総合学科）</li> <li>・進路目標の達成に向け、分掌・学年・教科が協働して生徒の学力向上の方策を講じる。</li> </ul> <p>エ 生徒会活動及び部活動の充実</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・生徒が主体的に取り組む生徒会活動の展開を目指す。</li> <li>・部活動指導を通して、集団の規律や礼節を重んじる姿勢を築き、たくましく社会を生き抜く力を育む。</li> <li>・部活動の充実と学習時間の保証に努める。</li> </ul> <p>オ 地域連携の推進</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・地域から信頼され、地域に愛される学校づくりを目指して、広報活動等の取組を行うことにより、本校教育活動の理解促進を図る。</li> <li>・地域との連携やボランティア活動等を通して、コミュニケーション能力の向上、豊かな人間性、社会の一員としての自覚を育むとともに、地域に貢献し愛される学校づくりに取り組む姿勢を確立する。</li> </ul> <p>カ 教職員の多忙化解消への取組・勤務時間の適正な管理</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・部活動指導の適正化を図るとともに職員の協体制を構築し、多忙化解消に努める。在校時間等の状況記録の結果を活用し、業務の適正化を図るとともに、医師の面接指導を積極的に活用して教職員の確実・適切なメンタルヘルスの保持に努める。</li> </ul>		
	項目(担当)	重点目標	具体的方策
総務部	<ul style="list-style-type: none"> <li>・PTA活動の活性化と広報活動の充実</li> <li>・自らの身は自ら守る防災教育の充実</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・PTA諸行事への参加・協力依頼とWebページの充実を図る。</li> <li>・常に防災意識を持ち、行動に移す力を育成する。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・学校祭では役員・理事が、計画・準備等自主的に活動してくださり、飲食・物品両バザー、献血とも盛況であった。またPTA研修会でも理事の企画でブリースづくりが行われ好評だった。学校保健委員会では「AED講習会」が開かれ、理事・役員が真剣に研修に取り組んだ。</li> <li>・2学期始業日に、実践的な避難訓練として、本年も避難経路のくぐり戸を通して避難する試みを行った。また一部生徒は避難場所を変え、点呼が正しく出来るかの確認をした。消火器による消火訓練も継続した。</li> </ul>
教務部	<ul style="list-style-type: none"> <li>・校務支援システム「メソフィア」の導入とその準備</li> <li>・学力向上を目指し、主体的に学習に取り組む生徒の育成</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・校務支援システム導入のための準備を行う。</li> <li>・学習習慣の確立と授業改善</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・1、2年生はメソフィアを用いて指導要録の作成を行った。来年度は全学年、成績処理や各種書類の作成をメソフィアで行う。</li> <li>・スタディサプリを導入し、中学校の学習内容を学びなおす手段として用いている。来年度はさらなる利用を目指す。</li> <li>・授業改善の機会として、利用できるように工夫をしたい。</li> </ul>
生徒指導部	<ul style="list-style-type: none"> <li>・全校体制による身だしなみ指導、遅刻指導、挨拶運動の取組</li> <li>・地域に愛され、信頼される学校づくり</li> <li>・いじめの未然防止及び、生徒の心理的負担への対処に係る取組の充実</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・校門指導の活性化とさらなる充実で遅刻数減少を図る。</li> <li>・様々な機会をとらえ、心の教育の実践を行う。</li> <li>・いじめ等への対処法をテーマとする全校集会や学級活動を行う。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・校門指導による生徒への早めの声掛けにより、基本的な生活習慣を身につけさせるとともに生徒指導事案の予防につとめた。遅刻指数において1を切るという目標を達成できた。</li> <li>・生徒の心に響く指導を心掛け、知立高校の生徒として誇りを持ち、自信をもって行動できる生徒を育成した。</li> <li>・いじめや人間関係の不調に悩む生徒への早期対応を、全職員の協力を得て行った。また、自殺防止のための学級活動を実施し、予防と啓発を図った。</li> </ul>
生徒会部	<ul style="list-style-type: none"> <li>・他人を尊重する態度の育成</li> <li>・生徒主体の行事促進</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・部活動を通して技術、マナーの向上、安全に協力し合う集団を作る。</li> <li>・執行部を中心に、生徒の主体的な取り組みを行う。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・近年、表彰を受ける部が増えてきており、活性化している様子が見える。またそれぞれの部で活躍するだけでなく、学校生活のさまざまな場面で力を発揮してくれている。</li> <li>・定期的な委員会の開催や執行部の打合せをし、早い時期から計画的に準備を進めることができた。執行部でアイデアを出し合い、毎年少しずつ変化の加わった行事となり、学校全体が盛り上がっている。</li> </ul>
進路指導部	<ul style="list-style-type: none"> <li>・明確な進路意識を基盤にした学習習慣の確立</li> <li>・より高い目標を持たせた進路指導の推進</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・進路実現に向けた基礎学力を身につけさせる。</li> <li>・各学科の特色を生かした進路指導を充実させる。</li> <li>・身だしなみとマナーの向上を図る。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・基礎学力の充実や入試に向けた補習等を実施した。教員の負担軽減も図りながら運営できるよう改善していきたい。</li> <li>・社会人講話や進学相談会、上級生の体験発表、インターンシップなどを実施し、低学年からの進路に対する意識付けを行った。</li> <li>・様々な進路行事ごとに身だしなみや挨拶を確認させた。今後は日常的に社会人としてのマナーを意識させたい。</li> </ul>

項目(担当)	重点目標	具体的方策	評価結果と課題
保健部	<ul style="list-style-type: none"> <li>・自発的な学習生活環境の整備</li> <li>・生徒の心身の健康維持</li> <li>・相談活動における各種機関との連携</li> <li>・生徒に関する情報の共有化</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・清掃活動、エコキャップ運動、花いっぱい運動、紙資源の回収を展開する。</li> <li>・健康診断の事後指導の充実を図る。</li> <li>・特別支援教育と教育相談を充実する。</li> <li>・保護者やSC、外部機関との連携の在り方を考察する。</li> <li>・教育相談部会や教育相談委員会の充実を図る。</li> <li>・保健室との連携を図る。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・清掃活動については、日常的にしっかりと取り組んでいる。定期的を実施している教室の汚れ落としやワックス掛けについても生徒が自主的に活動しており充実している。また花いっぱい運動においては、校内の花壇だけでなく、ブランター造りを行い、郵便局に飾ることによって地域環境美化活動にも貢献できた。</li> <li>・健康診断については、職員・生徒ともに当初の計画通り実施することができ、事後指導もしっかりできた。</li> <li>・教育相談については、保護者やスクールカウンセラーとも密に連絡を取りながら、適切な対応が出来たように感じる。ただ、心の病を持つ生徒が年々増加していることから、今後も各学年から保健部に担当職員を配置してもらい、今以上にきめ細かな対応が出来るように、指導組織やスタッフの充実を考えると課題と言える。</li> <li>・生徒情報については、教育相談委員会や保健部会などを通じて管理職、保健部(相談担当)、担任などと情報共有をしながら対応するが、今以上に、重要情報の管理を徹底していきたい。</li> </ul>
教育情報部	<ul style="list-style-type: none"> <li>・図書館の多機能化、快適な読書空間の構築</li> <li>・生徒図書委員会の活性化</li> <li>・ICT機器の活用</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・新刊本の充実と企画展を開催する。</li> <li>・広報活動の活性化を図る。</li> <li>・ICT機器の充実及び管理の徹底を図る。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・総合実践室で不要となったカウンターを図書館に移設するとともに、書棚の配置を変更し、快適な図書空間を構築できた。また、時機を得た企画展を毎月開催した。</li> <li>・毎月の図書館だよりを充実し、広報活動の活性化を図ることができた。ただ、貸出冊数については減少傾向にある。</li> <li>・授業や校務でICT機器を有効に活用できるよう環境を整備し、研修会を実施するなどICT機器の利活用を図ることができた。</li> </ul>
総合ビジネス科	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ビジネスの基礎・基本能力の定着と活用</li> <li>・地域との連携及び、積極的な校外の学びの場の設定</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・夏期・冬期休業中の学習会で学習の定着を図る。</li> <li>・外部講師を活用する。</li> <li>・校外での活動体験を増やす。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・今までの学習の振り返りをする活動を取り入れ、基礎的・基本的な知識・技術の定着を図ることができた。また、実践的な課題を与え、身に付けた知識・技術を活用させることができた。さらに、長期休業中に学習会を設けたことにより、学習習慣を定着させることができた。</li> <li>・課題研究の講座を中心として、地域と連携した学びや外部講師を活用した学びを推進することにより、学んだことを生かす場面を設けた。</li> <li>・ビジネス英語研修や東海展示会などへ積極的な参加をさせた。</li> </ul>
第1学年	<ul style="list-style-type: none"> <li>・基本的生活習慣の確立と集団生活における規律の遵守</li> <li>・思いやりと自主性の育成</li> <li>・予習復習など家庭学習を基盤にした学習習慣の確立</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・挨拶の励行と、品位ある身だしなみを自らできるように指導する。</li> <li>・様々な活動への生徒の自主的な協力を求め、思いやりの心を育てる。</li> <li>・学習方法の指導、効果的な課題、小テストを実施する。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・挨拶や身だしなみを整える、集団における規則を遵守する等、学校生活を送る上で基本的な事項が十分に身に付いているとは言い難い。そのため、次年度も継続して指導していきたい。</li> <li>・総合学科1期生として、基礎学力の定着を目指し、早朝学習会を実施したり、適切な時期に適切な分量の課題を出し、基礎学力の向上に努めることができた。また、系列選択では、選択ミスがないように細かな指示を行い、次年度に向けた指導も多く取り入れることができた。来年度以降では、「総合的な学習の時間」で、自ら学ぼうとする意欲を今以上に育てる取組を行っていきたい。</li> </ul>
第2学年	<ul style="list-style-type: none"> <li>・意識・行動の向上</li> <li>・基礎学力の定着と向上</li> <li>・進路意識の向上</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・集会や面談等を通じて、生徒に自分たちが集団の中心的立場であることを自覚させる。</li> <li>・辞書、参考書等を使って自ら学ぶ姿勢を育てる。</li> <li>・進路指導を充実する。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・挨拶や身だしなみ、集団における規律の遵守等、学校生活を送る上で基本的な事項が整わない生徒が若干いる。次年度は最上級学年となるため、下級生の模範となれるように継続的に指導していきたい。</li> <li>・家庭学習の習慣が確立されていない生徒が目立つ。自主的に学習に取り組めるように指導の工夫をしたい。</li> <li>・総ビ科・情処科では進路講演会や企業・大学見学等、普通科では「総合的な学習の時間」や大学模擬授業等を通して、より具体的な進路目標を持たせることができた。</li> </ul>
第3学年	<ul style="list-style-type: none"> <li>・進路希望の実現</li> <li>・最上級生としての模範的行動</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・学科の特性に合わせた指導をする。</li> <li>・就職指導、進学者向け学習会、補習を充実する。</li> <li>・主体的かつ自律的に行動し、リーダーシップを発揮するように指導する。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・商業・情報科では出欠席、マナー指導に特に力を入れ、3か年皆勤の生徒が半数になるなど成果を上げ、全員就職者は内定は内定を得ることができ、普通科は学力養成に力を入れ良い入試結果を得た。</li> <li>・各教科が進学補習を実施し、生徒の個々の学力向上に寄与した。また学習会を企画し、生徒の自学自習の意識を高めることができた。</li> <li>・学年団が一致して、生徒に規律ある行動・リーダーシップがでとれるように指導した。その成果として下級生をうまくまとめ、体育祭・文化祭など学校行事を成功させることができた。</li> </ul>
総合評価	概ね目標を達成しているが、なお不十分な点や新たな課題については、引き続き改善を図りたい。		

### イ 学校関係者評価結果等

学校関係者評価を実施した主な評価項目	<ul style="list-style-type: none"> <li>・基本的生活習慣の確立</li> <li>・規範意識の向上</li> <li>・学習指導の充実</li> <li>・進路指導の充実</li> <li>・キャリア教育の充実</li> <li>・地域連携の推進</li> <li>・いじめ防止の取組</li> <li>・勤務時間の管理</li> </ul>
自己評価結果について	<ul style="list-style-type: none"> <li>・あいさつのできる礼儀正しい生徒を育てている。</li> <li>・働き方改革をしつつ部活動の維持も望む。</li> <li>・いじめを許さない取組を継続し、多様な生徒を受け入れる学校であってほしい。</li> </ul>
今後の改善方策について	<ul style="list-style-type: none"> <li>・生徒の多様性に一層配慮する。</li> <li>・部活動は練習場所や時間の調整を図る。</li> </ul>
その他(学校関係者評価委員会から出された主な意見や要望)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・地元企業を訪問する取り組みがよかった。</li> <li>・総合学科の特色について、もっと知りたい。発信をしてほしい。</li> </ul>
学校関係者評価委員会の構成及び評価時期	<ul style="list-style-type: none"> <li>・構成：地元経済界代表、地域代表、地元中学校長、PTA役員</li> <li>・評価時期：令和2年3月(電話等による)</li> </ul>

### (5) 経営管理上の問題点等

#### ア 施設・設備の改善

教室、廊下、特別教室等の設備が老朽化しているので、補修が必要である。

#### イ 組織・運営関係の改善

メソフィアやタブレット端末をもっと活用し、業務のさらなる効率化、省資源化と情報共有の促進を両立して進めたい。

## II 本年度の目標

### (令和3年度の学校評価)

本年度の重点目標	<p>ア 生徒指導の充実</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・集会や団体行動の指導を通して、社会における規律やマナーを重んじる生徒を育成する。いじめを許さず、人権意識を高める指導を行う。</li> <li>・全校体制で、身だしなみ指導・遅刻指導、挨拶運動等に取り組み、生徒の基本的な生活習慣の確立を図る。</li> <li>・適応指導や教育相談の充実を努め、生徒一人一人の帰属意識や自己有用感を高めて、心身の健康の保持増進を図る。</li> </ul> <p>イ 学習指導の充実</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・全職員が一丸となって「授業規律の確立」と「魅力ある授業」を通じて、基礎学力の定着を図る。</li> <li>・主体的・協働的に学ぶ態度を育成し、授業や家庭学習を充実させ、進路実現に見合った学力を身につけさせる。</li> <li>・授業公開・相互授業参観を積極的に実施し、「主体的・対話的で深い学び」の実現に向けて指導方法と評価方法の工夫改善に取り組み、教科指導力の向上を図る。</li> </ul> <p>ウ キャリア教育と進路指導の充実</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・系統的計画的なキャリア教育を推進し、望ましい勤労観や職業観の育成を図る。</li> <li>・進学補習や自主学習体制を充実させ、生徒一人一人の夢の実現に向け、一層の進学指導の充実を図る。(普通科)</li> <li>・資格取得をより一層推進し、進学も視野に入れた多様な進路指導の充実を図る。(商業科)</li> <li>・生徒が自分自身の長所や適性、進路希望について熟考する機会を持ち、適切な系列の選択ができるよう図るとともに、総合学科の利点を生かし、体験的な学びが充実するよう指導体制を整える。(総合学科)</li> <li>・進路目標の達成に向け、分掌・学年・教科が協働して生徒の学力向上の方策を講じる。</li> </ul> <p>エ 生徒会活動及び部活動の充実</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・生徒が主体的に取り組む生徒会活動の展開を目指す。</li> <li>・部活動指導を通して、集団の規律や礼節を重んじる姿勢を築き、たくましく社会を生き抜く力を育む。</li> <li>・部活動の充実と学習時間の保証に努める。</li> </ul> <p>オ 地域連携の推進</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・地域から信頼され、地域に愛される学校づくりを目指して、広報活動等の取組を行うことにより、本校教育活動の理解促進を図る。</li> <li>・地域との連携やボランティア活動等を通して、コミュニケーション能力の向上、豊かな人間性、社会の一員としての自覚を育むとともに、地域に貢献し愛される学校づくりに取り組む姿勢を確立する。</li> </ul> <p>カ 教職員の多忙化解消への取組・勤務時間の適正な管理</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・部活動指導の適正化を図るとともに職員の協力体制を構築し、多忙化解消に努める。在校時間等の状況記録の結果を活用し、業務の適正化を図るとともに、医師の面接指導を積極的に活用して教職員の確実・適切なメンタルヘルスの保持に努める。</li> </ul>			
	項目(担当)	重点目標	具体的方策	留意事項
	総務部	<ul style="list-style-type: none"> <li>・コロナ禍における学校と連携したPTA活動のあり方の検討</li> <li>・自らの身は自ら守る防災教育の充実</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・PTA諸行事における感染拡大防止対策の充実・徹底の方策を進める。</li> <li>・常に防災意識を持ち、行動に移す力を育成する。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・様々な機会に保護者の来校を促すための企画を検討するとともに、感染拡大防止措置の学校の取り組みを発信し、家庭との信頼関係を築いていく。</li> <li>・新型コロナウイルス対策に万全を期しながら、諸行事の円滑な運営に努める。</li> <li>・「きずなネット」の効果的な活用を図るとともに、自然災害から身を守る方策を、家庭とともに考えさせる。</li> <li>・学校における実態に即した避難方法を検討する。</li> </ul>
	教務部	<ul style="list-style-type: none"> <li>・新学習指導要領における学習評価の円滑な実施へ向けた取組</li> <li>・新学習指導要領に対応した教育課程の編成を進める。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・何を、いつ、どのように評価を行うか、指導と評価の計画を立てる。</li> <li>・教科主任と連携を図り、新教育課程を作成する。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「主体的・対話的で深い学び」の実現に向けた授業改善に努める。</li> <li>・観点別学習状況の評価を評定の評価へどう総括するかを検討する。</li> <li>・評価の方針を生徒と共有する場面を必要に応じて設ける。</li> <li>・総合学科の特徴を活かした教育課程の編成を進め、実施に向けた準備を行う。</li> </ul>
	生徒指導部	<ul style="list-style-type: none"> <li>・社会における規律やマナーを重んじる生徒の育成</li> <li>・生徒の基本的な生活習慣の確立</li> <li>・生徒の心身の健康の保持増進</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・様々な機会をとらえ、心身の教育の実践を行う。</li> <li>・全校体制で、身だしなみ指導・遅刻指導、挨拶運動等に取り組み。</li> <li>・生徒一人一人の帰属意識や自己有用感を高める。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・主体的にルールを守る規範意識の醸成に努めるため、予防・啓発指導に重点をおき、生徒の自己指導能力の向上を図る。</li> <li>・全職員の共通理解のもと、生徒の心に訴え、対話を中心とした、指導に心がける。また生徒の心理的負担への対処に係る取組の充実を努める。</li> <li>・様々な場面で役割意識を持たせ、活躍の場を与えることで、知立高校の生徒として誇りを持ち、自信をもって行動できる生徒を育成する。</li> <li>・いじめを許さず、人権意識を高める指導を行う。</li> </ul>
	生徒会部	<ul style="list-style-type: none"> <li>・他人を尊重する態度の育成</li> <li>・生徒主体の行事促進</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・部活動を通して技術、マナーの向上、安全に協力し合う集団を作る。</li> <li>・執行部を中心に、生徒の主体的な取り組みを行う。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・部活動場所の整理・整頓、挨拶の励行、常に品位ある身だしなみで活動できる態度を養成する。また、チームやグループなどの活動で協働することにより、他者理解や自他を尊重する心を育む。</li> <li>・各行事については事前・事後のアンケートなどで全校生徒の意見を広く集め、広報活動を通じてフィードバックに努める。各委員会の役割を明確にし、自発的でありはりのある活動をさせる。</li> </ul>
	進路指導部	<ul style="list-style-type: none"> <li>・明確な進路意識を基盤にした学習習慣の確立</li> <li>・より高い目標を持たせた進路指導の推進</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・進路実現に向けた基礎学力を身につけさせる。</li> <li>・多様な進路目標実現に向けた進路指導を充実させる。</li> <li>・身だしなみとマナーの向上を図る。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・就職、進学にかかわらず、各学年、各教科と連携し、進路希望の実現を図るため補習や学習会等を通じて基礎学力を身につけさせる。</li> <li>・学年と連携し、様々な活動や進路情報の提供など通じ、多様な進路目標の設定とその実現に対応できるよう計画的に指導する。</li> <li>・低学年時から、常にモラル、マナーへの注意を喚起し、早めに社会人としての意識を持たせ自立への第一歩としたい。</li> </ul>

項目(担当)	重点目標	具体的方策	留意事項
保健部	<ul style="list-style-type: none"> <li>自発的な学習生活環境の整備</li> <li>生徒の心身の健康維持</li> <li>相談活動における各種機関との連携</li> <li>生徒に関する情報の共有化</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>清掃活動、紙資源の回収を展開する。</li> <li>健康診断の事後指導の充実を図る。</li> <li>特別支援教育と教育相談を充実する。</li> <li>保護者やSC、外部機関との連携の在り方を考察する。</li> <li>生徒情報共有フォルダを作成し情報の共有化を図る。</li> <li>教育相談委員会の充実を図る。</li> <li>保健室との連携を図る。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>美化委員会を活性化させ、教員の適切な監督のもと、生徒自らが活動に積極的に取り組む体制を整える。</li> <li>健康診断実施後の「受診のすすめ」の配布と、未受診者の家庭への再通知を行うとともに、担任による保護者懇談等を有効に活用し、受診率を向上させる。</li> <li>教育相談部との連携を図りながら、スクールカウンセラーを活用し、教育相談体制の充実を図る。支援の必要な生徒の情報を教員間で共有し、特別支援教育の体制づくりを進める。</li> <li>SCとの面談に関しては、その内容を関係者が周知し、該当生徒への対応の一貫性を図る。</li> <li>教育相談部、相談室、スクールカウンセラー訪問の広報に努める。</li> <li>教育相談委員会の内容を充実させ、問題を抱える生徒に迅速かつ適切に対応できるようにする。</li> <li>保健室との連携を促進し、生徒情報の共有化を図る。</li> </ul>
教育情報部	<ul style="list-style-type: none"> <li>快適な読書空間の構築、新刊本や企画展の充実</li> <li>生徒図書委員会の活性化</li> <li>ICT機器の活用</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>新刊本の充実と企画展を開催する。</li> <li>広報活動の活性化を図る。</li> <li>ICT機器の充実及び管理の徹底を図る。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>生徒のニーズを的確に汲みつつ、企画展の一層の工夫を図るとともに、図書館の環境整備を徹底し、安心して来館できるように努める。</li> <li>図書館だよりをはじめとする広報活動のさらなる充実により、来館者数、図書貸出冊数を増やす。</li> <li>GIGAスクール構想で配備されたICT機器を有効に授業や校務で活用できるよう環境を整備するとともに、管理を徹底する。</li> </ul>
総合推進部	<ul style="list-style-type: none"> <li>キャリア教育の推進</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>進路指導部と協力して、企業や大学の見学会を実施する。</li> <li>産業社会と人間で外部講師を招聘し、生徒の職業観を育成させる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>見学が面白かっただけで終わらないように、ワークシートを用いて事前訪問先について調べ、質問を考えさせる。見学後には、他クラスにも情報が共有できるよう発表会などを実施する。</li> <li>地元企業や個人商店の店主、社会福祉協議会など地域で活躍している方から話を聞く機会を設ける。生徒は、それらの講演会等を通して、社会にはどのような仕事があるのか、社会人として必要なスキルなどを知り、将来の職業について具体的にイメージできるようにする。</li> </ul>
第1学年	<ul style="list-style-type: none"> <li>基本的な生活習慣の確立と集団生活における規律の遵守</li> <li>人権を尊重する態度の育成</li> <li>予習復習など家庭学習を基盤とした学習習慣の確立</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>挨拶の励行と、品位ある身だしなみを自らできるように指導する。</li> <li>L Tと公民科の教科指導を中心に、学校の教育活動全体を通じて人権について多面的・多角的に考え、人権を尊重する態度を育成する。</li> <li>学習方法の指導、効果的な課題、小テストを実施する。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>生徒から明るく自然な挨拶の言葉が出るよう声をかけ、身だしなみ指導においてはその必要性を理解できるように指導する。</li> <li>人権感覚や人権を尊重する態度の育成を目指し、人権をテーマとしたL Tを学期に1回実施し、人権について他者との対話を通じて考える機会を設ける。</li> <li>小テストの事前事後指導や学習支援アプリの効果的活用方法の指導を充実させ、生徒が自主的に学習に取り組む意欲を引き出すよう粘り強く指導する。</li> </ul>
第2学年	<ul style="list-style-type: none"> <li>意識・行動の向上</li> <li>基礎学力の定着と向上</li> <li>進路意識の向上</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>集会や面談等を通じて、生徒に自分たちが集団の中心的立場であることを自覚させる。</li> <li>辞書、参考書等を使って自ら学ぶ姿勢を育てる。</li> <li>進路指導を充実する。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>与えられるという受動的態度から自ら考え行動する態度を育て、部活動、学校行事等に主体的に取り組ませる。</li> <li>生徒が自ら学び考えて答えを導くよう、授業や課題の内容を工夫する。日々、何をどれくらいするべきかを具体的に考えさせる。</li> <li>進路目標を明確化し、その達成に向け具体的な計画を立てさせる。</li> </ul>
第3学年	<ul style="list-style-type: none"> <li>進路希望の実現</li> <li>最上級生としての模範的行動</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>系列の特性に合わせた指導をする。</li> <li>就職指導、進学者向け学習会、補習を充実する。</li> <li>主体的かつ自律的に行動し、リーダーシップを発揮するように指導する。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>生徒の多様な進路を把握し、各系列に必要な指導を、最適な時期に行う。</li> <li>就職者向けのマナー指導、面接指導を充実させる。昨年度の大学入試改革を把握し、入試制度や入試問題の研究を行い、生徒の志望する進学実現に向けて計画的な進路指導を行う。</li> <li>身だしなみ、時間厳守、挨拶などの基本的な生活習慣を身につけ、学習・行事にも意欲的に取り組み、下級生の模範となるよう指導する。</li> <li>学校行事において、リーダーシップを発揮できるように指導する。</li> </ul>
学校関係者評価を実施する主な評価項目		<ul style="list-style-type: none"> <li>基本的な生活習慣の確立に努めている。</li> <li>挨拶の励行やマナーを守る指導を適切に実施している。</li> <li>服装や頭髪など身だしなみ指導を適切に行っている。</li> <li>学力向上を目指した授業を展開している。</li> <li>進路実現のために丁寧な進路指導を実施している。</li> <li>社会に通用する人間の育成を目指している。</li> <li>地域に情報を発信するとともに地域と一体となり、教育活動に取り組んでいる。</li> <li>いじめの防止に取り組んでいる</li> <li>勤務時間を適切に管理し、健康障害の防止に取り組んでいる。</li> </ul>	